

気候情報

2021年8月の日本の天候

- 西日本では降水量は記録的に多く、日照時間はかなり少なく、気温は低く、東日本太平洋側では降水量はかなり多かった
- 北日本日本海側の降水量は少なかった
- 沖縄・奄美の気温は低かった

8月の天気概況

中旬から下旬の前半は、本州付近は高気圧の間となって前線が停滞し、太平洋高気圧の縁辺や中国大陸からの湿った空気も流れ込んで、東・西日本付近では雨の日が続き、西日本の月間日照時間はかなり少なかった。西日本では線状降水帯も発生するなど、各地で断続的に大雨となったため、東日本太平洋側と西日本の月降水量はかなり多かった。一方で、北日本日本海側では、高気圧が北海道付近に張り出して前線の影響も受けにくく、月降水量は少なかった。北日本では中旬にかけての気温の変動が大きく、西日本では月平均気温が低くなった。沖縄・奄美では、上旬は熱帯低気圧や台風第9号、第10号の影響で、下旬のはじめは台風第12号の影響で曇りや雨の日が多かったため、月平均気温は低かった。

上旬：北・東・西日本では、期間の中頃にかけては東から太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。5日に沖縄付近で発生した台風第10号が8日頃に日本の南を北東進し、その後台風第9号が西日本を北東進し温帯低気圧となった後、日本海沿岸付近を通じて東北地方を東進した。これら台風や温帯低気圧の影響で島根県では線状降水帯も発生し、北・東・西日本では日本海側を中心に各地で大雨、大荒れの天気となった。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。西日本では平年並だった。

旬降水量は、北・東日本太平洋側と西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側と西日本太平洋側が多かった。北日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なかった。北・東・西日本では平年並だった。

中旬：北海道付近は、オホーツク海に中心を持つ高気圧が張り出して晴れたところもあった。太平洋高気圧が日本の南で西に張り出し、日本の西で上層の気圧の谷が停滞したため、東・西日本付近では前線が停滞し太平洋高気圧の縁辺や中国大陸からの湿った空気も流れ込んで、雨の日が続いた。北・東・西日本の旬平均気温は、寡照や下層の寒気が流れ込んだ影響などによりかなり低かった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり低く、沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、東・西日本でかなり多く、北日本太平洋側が多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本でかなり少なかった。

一方、北日本日本海側で多かった。北日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：期間の前半は、北海道付近では千島付近に中心を持つ高気圧が張り出して晴れたところもあった。期間の後半は、西日本太平洋側を中心に太平洋高気圧に覆われやすかった。旬降水量は、前線でまとまった雨が降らなかった北日本日本海側と東日本、西日本太平洋側で少なかった。旬間日照時間は、太平洋高気圧に覆われた沖縄・奄美でかなり多かった。

旬平均気温は、北・東・西日本で高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側と東日本、西日本太平洋側で少なかった。北日本太平洋側と西日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり多かった。北・東・西日本では平年並だった。

8月の気候統計

月平均気温：西日本と沖縄・奄美で低かった。北・東日本では平年並だった。

月降水量：東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：西日本でかなり少なく、東日本で少なかった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

8月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から(mm)
呉(広島県)623.5など30地点

2021年8月の平年差(比)図

